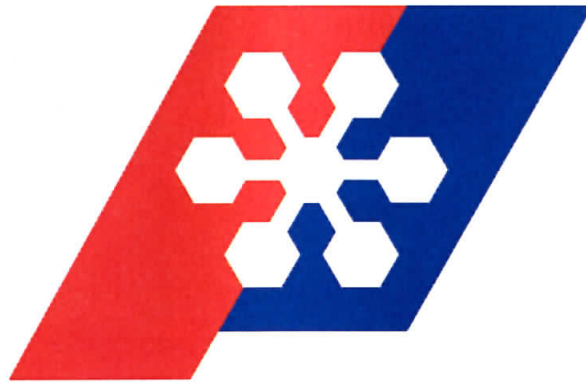


平成27年度

決算報告書

(第6期事業年度)



自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

平成 27 年度 決算報告書

地方独立行政法人北海道立総合研究機構

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	12,865	12,865	0	(注1)
施設設備等整備費補助金	208	200	▲ 8	(注2)
自己収入	340	322	▲ 19	
依頼試験手数料等	164	124	▲ 40	(注3)
財産売払収入	125	145	20	(注4)
知的財産関連収入	16	18	2	(注5)
雑収入	35	35	▲ 1	(注6)
受託研究等収入及び寄附金収入等	1,065	1,055	▲ 10	
受託研究等収入等	1,065	1,055	▲ 10	(注7)
補助金収入	62	112	50	(注8)
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	29	29	(注9)
計	14,540	14,583	42	
支出				
研究経費	987	914	▲ 74	(注10)
一般管理費	2,866	2,689	▲ 177	(注11)
人件費	9,352	9,323	▲ 29	(注12)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	1,065	1,051	▲ 14	
受託研究等経費等	1,065	1,051	▲ 14	(注13)
施設設備等整備費	208	220	12	(注14)
補助金事業費	62	111	49	(注15)
計	14,540	14,308	▲ 233	
収入－支出	—	275	275	

(注1) 前年度からの繰越がないため、予算額と同額となります。

(注2) 入札結果に基づく契約確定額の減少などにより、予算額に比して8百万円減少しました。

(注3) 依頼者等の減少などにより、予算額に比して決算額が40百万円減少しました。

(注4) 畜産物や木製加工品等の売払収入の増加などにより、予算額に比して決算額が20百万円増加しました。

(注5) 特許権の実施料の増加などにより、予算額に比して決算額が2百万円増加しました。

(注6) 法人財産使用料や預金利息の減少などにより、予算額に比して決算額が1百万円減少しました。

(注7) 年度途中で採択を見込んでいた受託研究等の減少などにより、予算額に比して10百万円減少しました。
予算額及び決算額には、前年度からの繰越額3百万円を含みます。

(注8) 年度途中で採択を見込んでいた補助金の増加などにより、予算額に比して50百万円増加しました。

- (注9) 前中期目標期間繰越積立金を取崩したことにより、予算額に比して29百万円増加しました。
- (注10) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分が異なるため、損益計算書と決算報告書の研究経費の額が相違しています。また、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して74百万円減少しました。
- (注11) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分が異なるため、損益計算書と決算報告書の一般管理費の額が相違しています。また、経費の節減に努めたことにより、予算額に比して177百万円減少しました。
- (注12) 職員人件費等の減少により、予算額に比して決算額が29百万円減少しました。
- (注13) 注7に示した理由などにより、予算額に比して決算額が14百万円減少しました。予算額及び決算額には、前年度からの繰越額3百万円を含みます。
- (注14) 注9に示した理由などにより、予算額に比して決算額が12百万円増加しました。
- (注15) 注8に示した理由により、予算額に比して決算額が49百万円増加しました。